

制御系組込みシステムアーキテクト養成プログラム

実施機関：静岡大学（総括責任者：伊東 幸宏）

実施期間：平成 20～24 年度

プロジェクトの概要

浜松地域は数々の世界的企業が生まれ、独特の発展を遂げ現在に引き継がれている。中でも、輸送機器（四輪、二輪、船舶機器、特機）や電子楽器、AV 機器などの生産が盛んであり、国際的に競争力を持つ製品も多い。国際的に競争力を持つ浜松地域の製品開発力を向上させるためには、製品の多くに用いられている組込みシステムの開発技術を高める必要がある。

本プロジェクトはソフトウェア工学を中心とした情報技術に関する教育について実績のある静岡大学内に地域における組込み技術者の教育を進める組織として「組込みシステムアーキテクト研究所」を設置し、浜松市及び地域企業と連携して、ソフトウェア工学と制御技術の基本を深く理解し、実践に応用できる技術者、及びソフトウェア、電気／電子、機械の部門を横断的に俯瞰し統合できるシステムアーキテクトとして、これら複数の技術領域を統合する分野で活躍する技術者を育成する。「組込みシステムアーキテクト研究所」は、人材育成における地域企業の連携を促進するとともに、企業間の技術交流や協業の促進も行う。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	人材養成手法の妥当性	実施体制・自治体等との連携	人材養成ユニットの有効性	継続性・発展性を見通し	中間評価の反映
A	a	a	a	a	s	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

企業のニーズを十分に踏まえながら、ソフトウェア設計に基づいて構築され、フィードバックを通じて改善が重ねられたカリキュラムに基づいて、組込みシステムアーキテクトを養成するプログラムである。継続にあたっては大学のみならず、浜松市及び地域団体・企業の支援体制が明確であることも評価できる。今後は、地域の産業競争力の強化のために、育成された人材を十分に活用することを期待する。

- ・**目標達成度**：実施の拠点となる「組込みシステムアーキテクト研究所」を大学内にいち早く設立し、当該研究所を中心として事業を主体的に実施した。所期の養成目標数を超える人材を輩出した点や修了者の地元定着率が 100%で地域への貢献度が大きいことなどは評価できる。
- ・**人材養成手法の妥当性**：講義、演習、レビューを中心とした合宿形式による養成手法、企業のニーズを踏まえたカリキュラム、また PDCA サイクルを回すことによるカリキュラムの改善などは評価できる。
- ・**実施体制・自治体等との連携**：浜松市のみならず、はままつ産業創造センター、浜松商工会議所をはじめとする多くの地域団体や企業群との多面的な連携、支援が見られる点は評価でき

る。

・**人材養成ユニットの有効性**：企業のニーズを十分に踏まえて実施されていること、また企業から大きな協力が得られていることなどは本ユニットの有効性を示すものとして評価できる。今後は、修了生が修得した技術を所属企業にて発揮し、地域産業の発展に貢献することを期待する。

・**継続性・発展性の見通し**：地元企業 31 社及び関係 5 団体を会員とした「組込みソフトウェア技術コンソーシアム」を設立し、地域を上げた継続事業体制を整えたこと、及び大学、浜松市による出資を中心とし、コンソーシアム会員年会費、受講料などにより、資金面での裏付けも明確であることなどは高く評価できる。また、本コンソーシアムでは、中小企業技術者の技術力のさらなる向上に向けて新たなC-プログラミング基礎・実践コースを設けるなど地域ニーズへの対応を図ったことも高く評価できる。

・**中間評価の反映**：中小企業技術者の基礎的技術力向上のため、継続事業において本養成プログラムの前段階と位置付けられる「C-プログラミング基礎・実践コース」を設置したこと、及び修了生に対して技術研究会を開催することにより技術者間ネットワークの構築につながったことは評価できる。